



積水化学工業株式会社
2021年度(2022年3月期)
第1四半期

決算説明会

取締役 専務執行役員
経営戦略部長
上脇 太

2021年7月29日

2021年度 第1四半期実績および 上期見通し

為替レート	2020年度 1Q	2020年度 上期	2021年度 1Q	2021年度 2Q	2021年度 上期	2021年度 期初計画
前提	¥110/US\$ ¥120/€	¥109/US\$ ¥121/€	¥105/US\$ ¥127/€	¥110/US\$ ¥133/€	¥108/US\$ ¥130/€	¥105/US\$ ¥127/€
実績 *期中平均	¥108/US\$ ¥118/€	¥107/US\$ ¥121/€	¥109/US\$ ¥132/€	-	-	-

2021年度第1四半期 損益概要

- 一部にCOVID-19影響残るも大幅増収、営業利益も大幅増益
- 為替差益、株式売却益等により、経常利益、最終利益とも大幅増益
- 売上高、営業利益とも計画をやや上回って進捗

(億円)	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	増減
売上高	2,148	2,486	+338
営業利益	15	111	+96
経常利益	9	131	+122
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲4	125	+129

*20年度第3四半期に高機能P・Aerospace社無形資産償却額が確定したことを受け、のれん暫定値に基づく償却額を遡及修正(20年度1Q営業利益を1億円増額修正)

2021年度第1四半期 カンパニー別売上高・営業利益

■各セグメントとも増益確保。環境LLは構造改革(事業譲渡)影響で減収も、全社で大幅増収増益。1Qは総じて計画をやや上回る

・高機能P*: 半導体不足等の影響受け、自動車市況は想定を下回って推移も、高機能膜拡販は順調。スマホ市況は堅調。

原料高騰想定以上も、戦略3分野拡大により大幅増収増益。計画を上回る

・住宅*: 部材高騰も、受注回復、コスト削減により増益確保。ほぼ計画通り

・環境LL*: COVID-19影響(国内非住宅)長期化、原料高騰も、増益確保。計画をやや下回る

・メディカル: 国内外ともに外来検査数回復により増収増益。計画をやや上回る

(億円)	2020年度 1Q実績		2021年度 1Q実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P*	620	25	839	104	+219	+79
住宅*	961	4	1,055	12	+94	+8
環境LL*	448	0	442	4	▲6	+4
メディカル	153	11	184	23	+31	+12
その他	8	▲20	8	▲23	0	▲3
消去又は全社	▲44	▲6	▲42	▲9	+2	▲2
合計	2,148	15	2,486	111	+338	+96

*高機能P=高機能プラスチックカンパニー *住宅=住宅カンパニー *環境LL=環境・ライフラインカンパニー

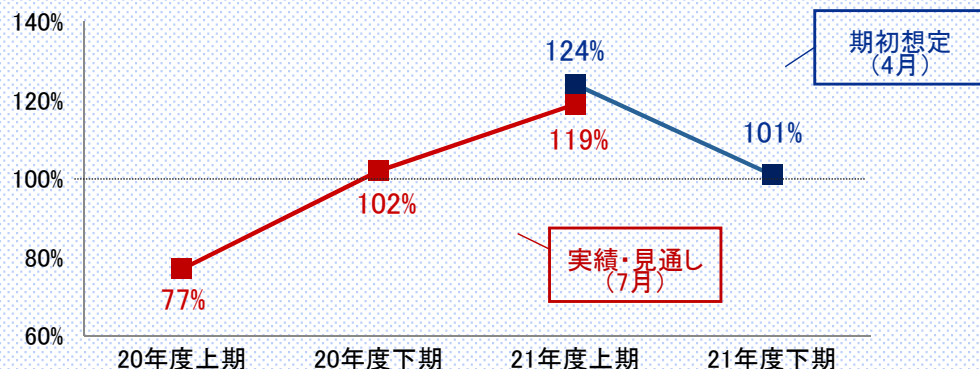
市況見通し

自動車需要は期初想定を下回るも回復基調継続、スマホ市況は堅調に推移、原料高騰続く

グローバル自動車生産台数

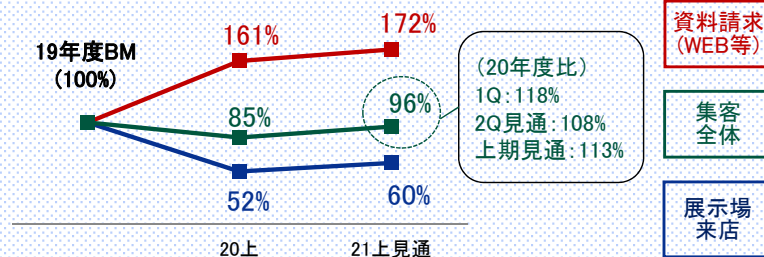
*前年同期比

1Qグローバル市況回復も、北米寒波・半導体不足影響受け、想定を下回る。2Qより緩やかに回復見込む



住宅・集客

COVID-19影響長期化により来店は想定を下回る。WEB集客は引き続き順調に推移

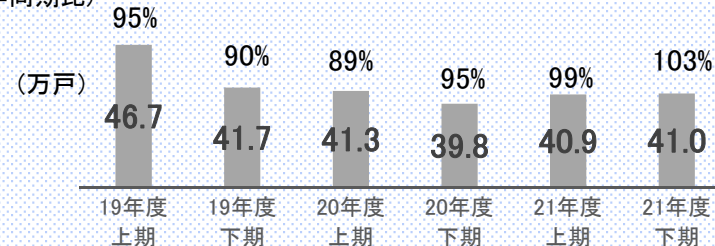


新設住宅着工

市況改善、住宅需要回復傾向

※環境LL各製品の需要発現: 住宅着工後4~6ヶ月

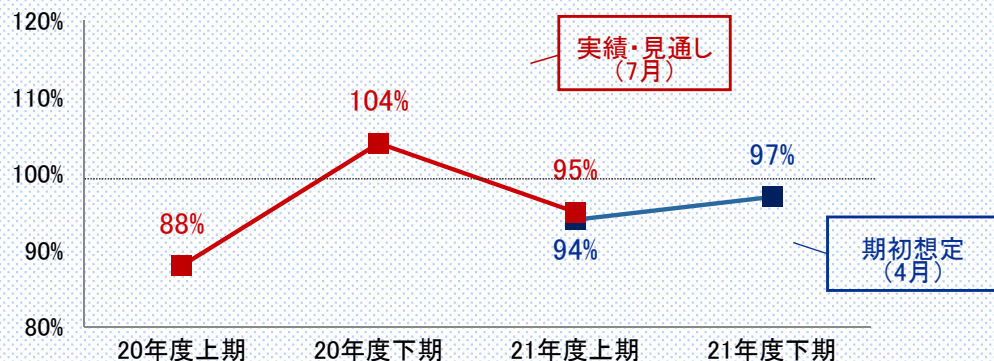
(前年同期比)



スマホ出荷台数

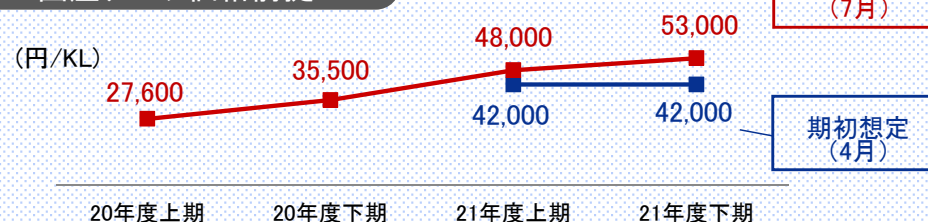
*前年同期比

半導体不足影響あるも、5G向け需要拡大等により比較的堅調に推移



国産ナフサ価格前提

(円/KL)



2021年度上期見通し カンパニー別売上高・営業利益

■原料、部材高騰は想定を上回るも、一定の市況改善、高機能品拡販、売値改善、およびコスト削減により、営業利益計画達成見込み

- ・高機能P: 原料高騰拡大、半導体不足影響継続も、売値改善、CR等でオフセット。上期営業利益計画を上方修正
- ・住宅: 部材高騰、COVID-19影響長期化も、受注回復、コスト削減により営業利益計画達成見込み
- ・環境LL: 「数量・構成」増・固定費抑制も、原料高騰継続・国内非住宅需要回復遅れにより、上期営業利益計画を下方修正
- ・メディカル: 国内外ともに外来検査数回復、営業利益計画達成見込み

(億円)	2020年度 上期実績		2021年度 上期見通し		増減		2021年度 上期計画(4月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,391	92	1,707	180	+316	+88	1,621	161	+86	+19
住宅	2,306	130	2,540	145	+234	+15	2,540	145	0	0
環境LL	962	25	937	25	▲25	0	937	33	0	▲8
メディカル	319	25	374	44	+55	+19	374	44	0	0
その他	15	▲42	25	▲57	+10	▲15	25	▲50	0	▲7
消去又は全社	▲93	▲6	▲100	▲20	▲7	▲14	▲100	▲16	0	▲4
合計	4,900	224	5,483	317	+583	+93	5,397	317	+86	0

2021年度上期見通し カンパニー別売上高・営業利益(1Q、2Q別)

- 1Qは計画をやや上回るも、2Qは原料高騰、半導体不足影響継続を折込み
 全社上期営業利益は期初計画通り着地の見通し

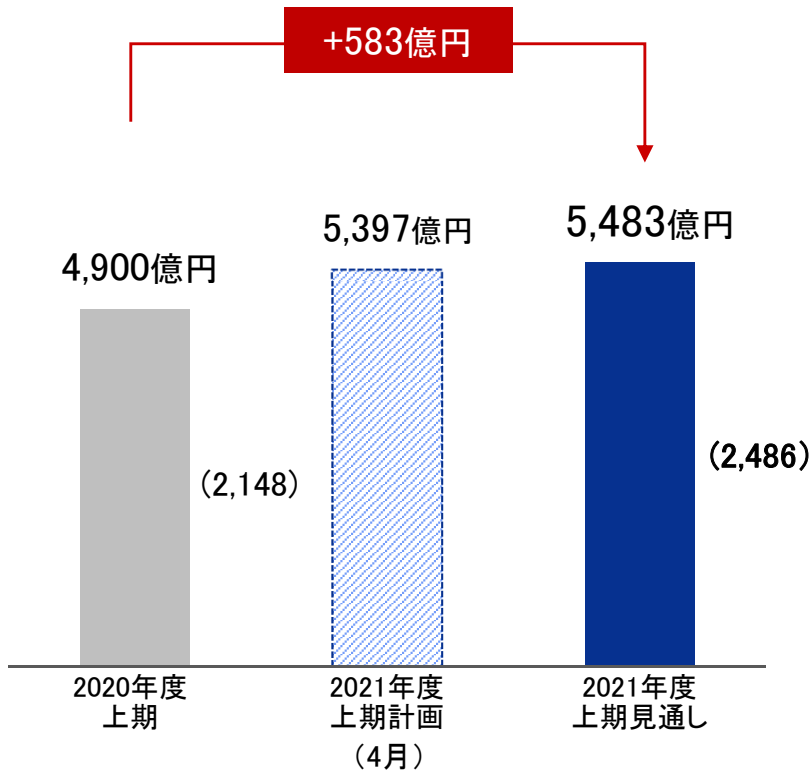
(億円)	2020年度 1Q実績		2021年度 1Q実績		2020年度 2Q実績		2021年度 2Q見通し		2020年度 上期実績		2021年度 上期見通し	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	620	25	839	104	771	67	868	76	1,391	92	1,707	180
住宅	961	4	1,055	12	1,345	126	1,485	133	2,306	130	2,540	145
環境LL	448	0	442	4	514	25	495	21	962	25	937	25
メディカル	153	11	184	23	166	14	190	21	319	25	374	44
その他	8	▲20	8	▲23	7	▲22	17	▲34	15	▲42	25	▲57
消去又は 全社	▲44	▲6	▲42	▲9	▲49	0	▲58	▲11	▲93	▲6	▲100	▲20
合計	2,148	15	2,486	111	2,753	209	2,997	206	4,900	224	5,483	317

2021年度上期見通し 業績分析

- 「数量・構成」大幅増。原料高騰は想定以上も、売値改善、CR、固定費抑制によりオフセット
- 下期にかけ、原料動向等引き続き不透明な事業環境を想定し、収益体質強化に継続して取組む

売上高

*カッコ内は1Q実績



営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
計画 (4月)	0	▲8	+230	▲9	▲53	+37	▲102	+93
上期増減見通し	0	+4	+221	+17	▲99	+42	▲93	+93

高機能P +119
住宅 +59
環境LL +22
メディカル +30

2020年度上期 224億円 → 2021年度上期見通し 317億円 (+93億円)

	1Q増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
1Q増減	+1	▲1	+147	+1	▲37	+23	▲36	+96
2Q増減	0	+5	+74	+16	▲62	+19	▲56	▲3

2021年度上期見通し 損益概要

- 売上高を上方修正
- 各段階の利益については期初計画通りの見通し

(億円)	2020年度 上期実績	2021年度 上期見通し	増減	2021年度 上期計画(4月)	差異
売上高	4,900	5,483	+583	5,397	+86
営業利益	224	317	+93	317	0
経常利益	207	332	+125	332	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	130	259	+129	259	0
配当 (円/株)	23	24	+1	24	0

*20年度第3四半期に高機能P・Aerospace社無形資産償却額が確定したことを受け、のれん暫定値に基づく償却額を遡及修正(20年度上期営業利益を3億円増額修正)

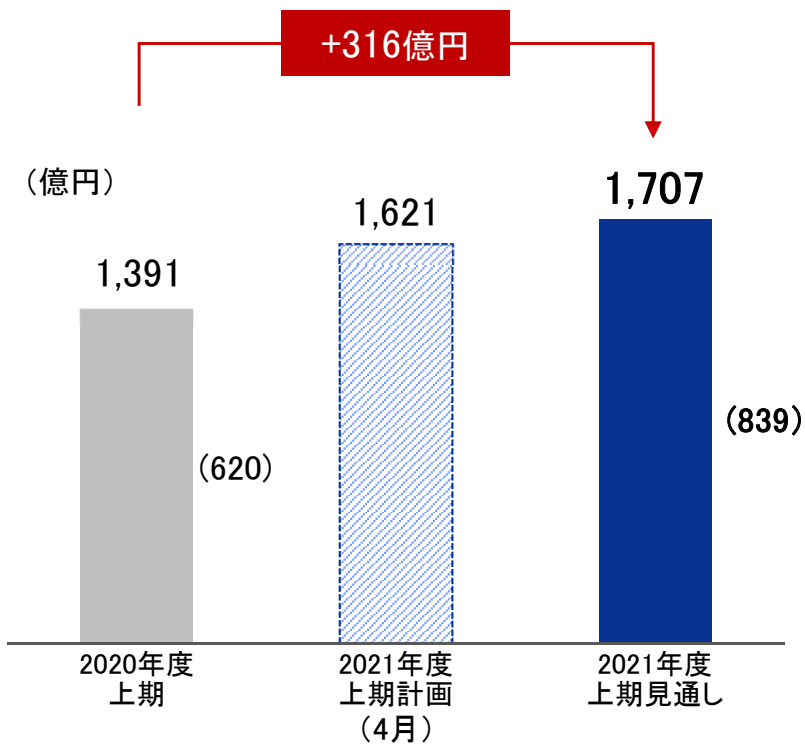
Intentionally Blank

高機能プラスチックカンパニー 上期業績見通し

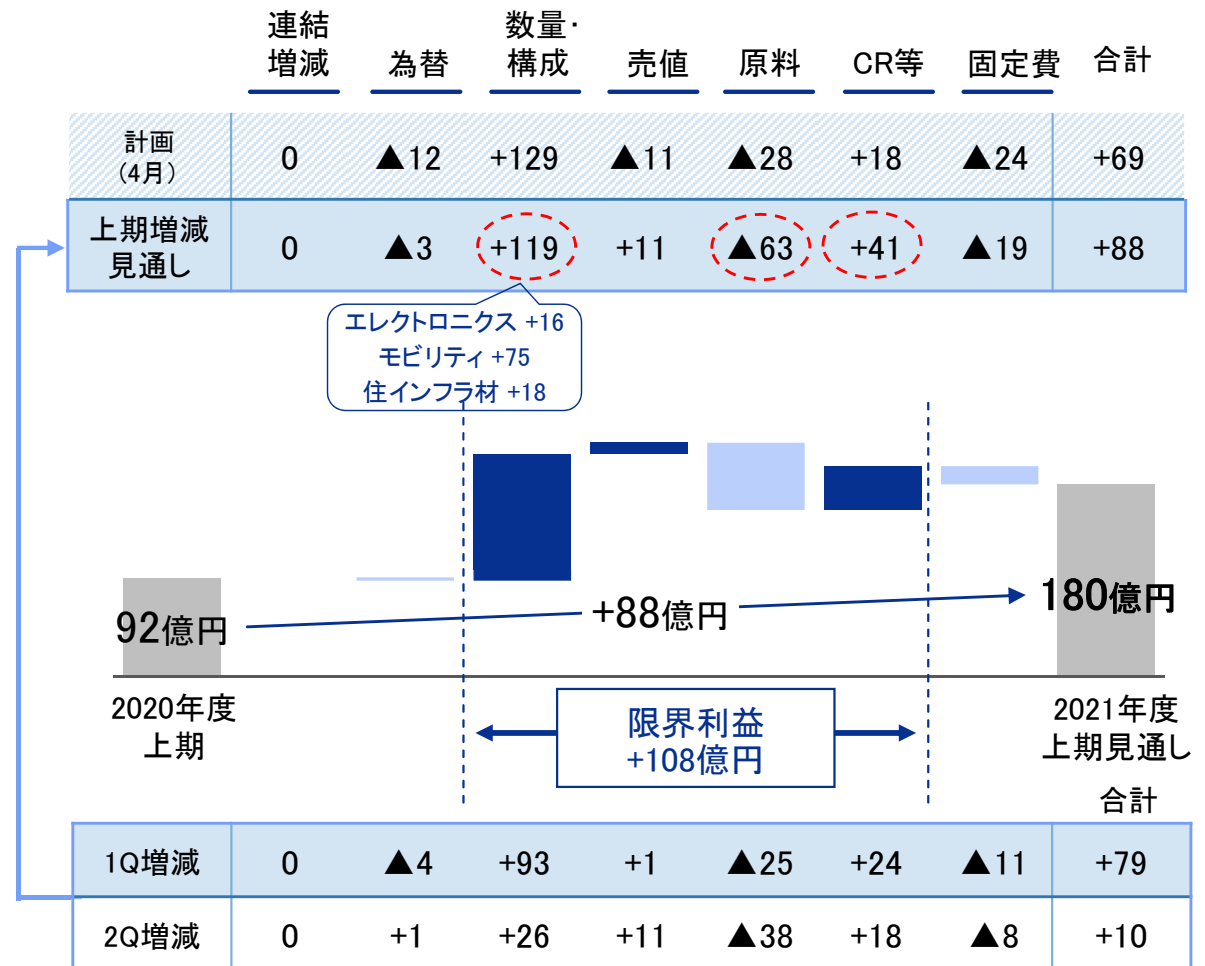
■ 想定を上回る原料高騰、半導体不足影響継続も、売値改善、CR等でオフセットし、19年度並の収益力を回復。上期営業利益計画を上方修正(161億円→180億円)

売上高

*カッコ内は1Q実績



営業利益増減要因分析



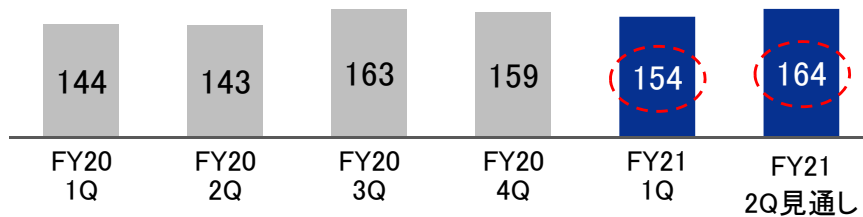
- 一部COVID-19影響残るも、戦略3分野とも計画を上回る進捗
- 引き続き半導体不足による需要動向に懸念

戦略3分野の売上高推移と進捗状況

エレクトロニクス

- 半導体不足による影響受けるも、パネル需要が牽引し液晶分野売上増。2Q以降、非液晶分野についても拡大

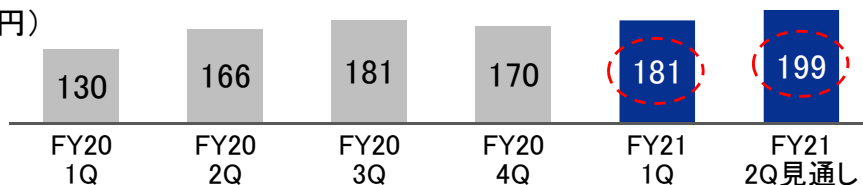
(億円)



住インフラ材

- 塩素化塩ビ樹脂: COVID-19影響残るも、需要はグローバルで回復傾向。概ね計画通り進捗
- 耐火、不燃材料: 国内住宅市況回復により計画通り進捗

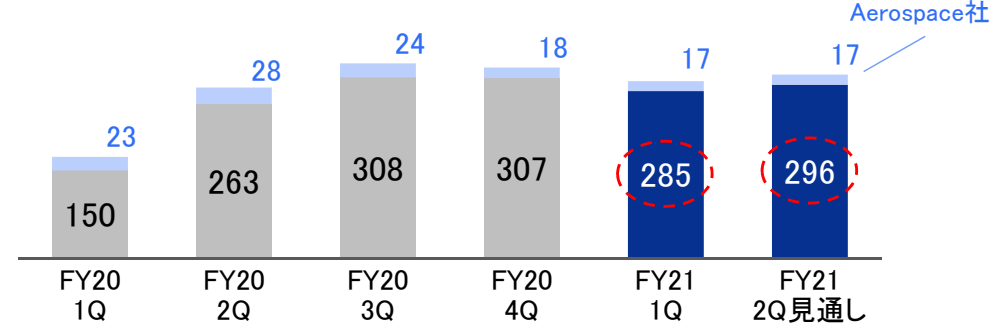
(億円)



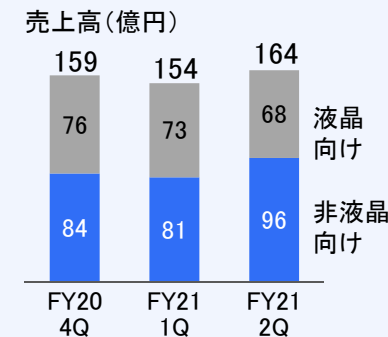
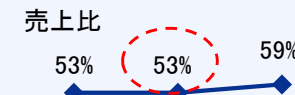
モビリティ

- 半導体不足影響などを受け総需要は停滞も、HUD膜を中心に高機能膜が順調に拡大し、大幅増収(HUD膜 130%超 *販売量ベース)
- Aerospace社、航空機需要は停滞懸念、合理化は計画通り進捗

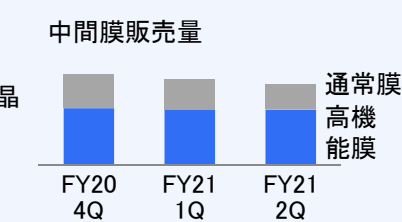
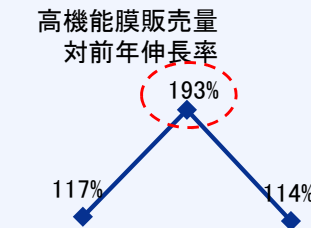
(億円)



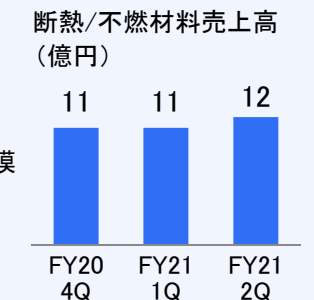
【非液晶分野注力】



【高機能中間膜拡販】



【断熱/不燃材料拡販】



住宅カンパニー 上期業績見通し

■部材高騰も、受注回復・コスト削減により売上高・営業利益とも計画達成見込み

- ・住宅：1Q受注は計画を上回る。上期売上棟数は計画を下回るも、収支は計画通り
- ・リフォーム：COVID-19影響長期化も、受注回復により営業利益は計画通り
- ・その他：各事業とも計画通り進捗。まちづくり事業の収益貢献本格化

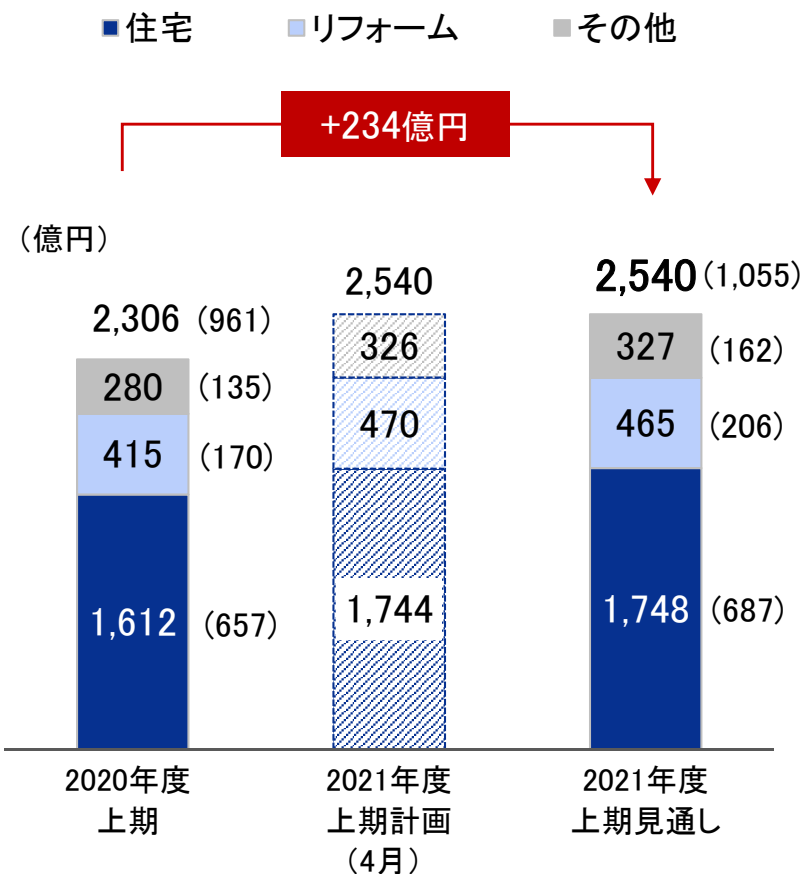
受注実績・計画

*%は前年同期比

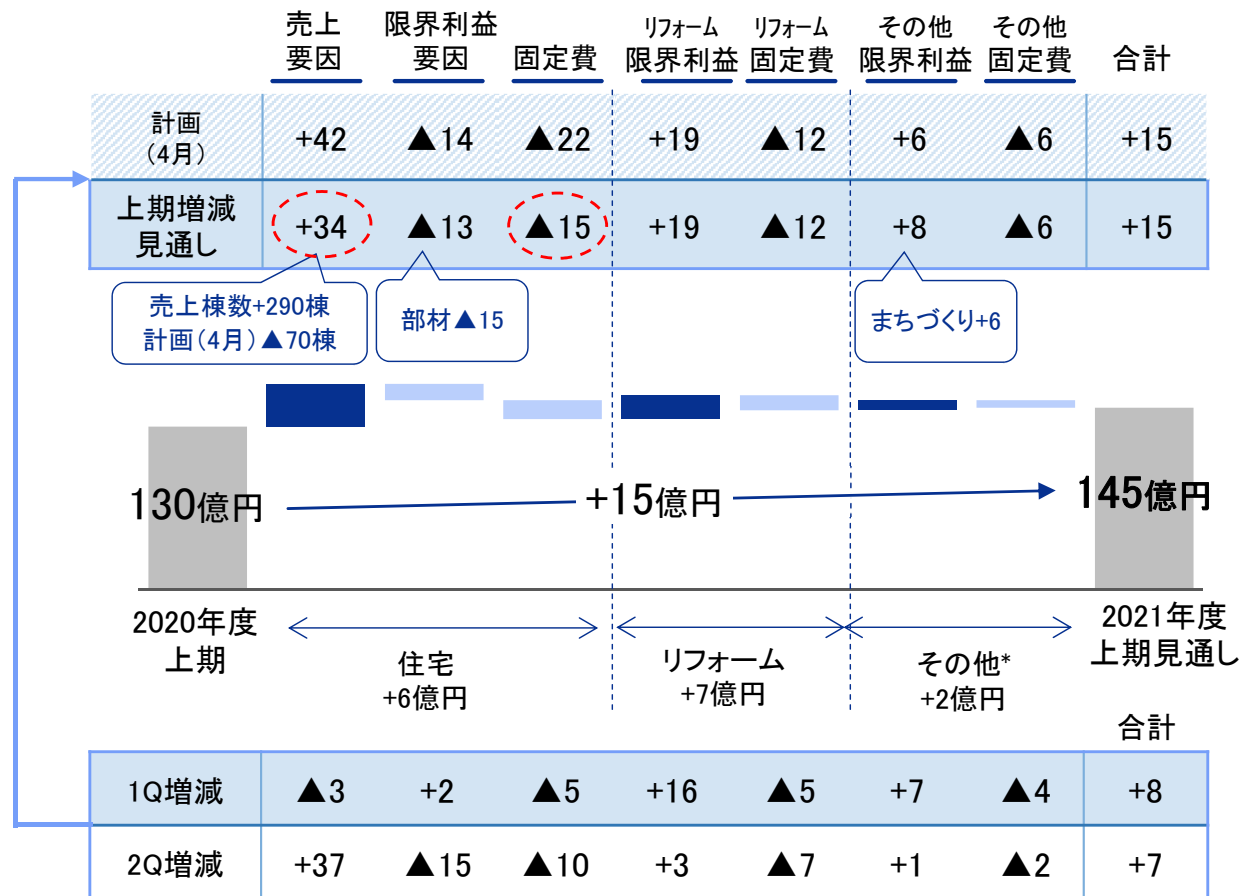
	1Q実績	2Q見通	上期見通	計画(4月)
住宅受注棟数	126%	96%	108%	108%
リフォーム受注額	138%	104%	118%	121%

事業別売上高

*カッコ内は1Q実績



営業利益増減要因分析



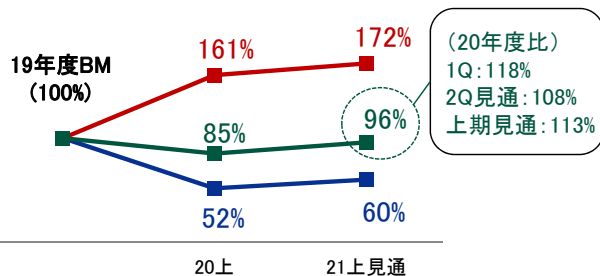
*その他(不動産・まちづくり・海外・住生活・でんき)

50周年記念プロジェクトにより3つの成長施策を加速

集客・受注推移

集客

- WEBがけん引し集客回復基調



建築種別受注棟数

- 自社分譲、建売は順調に拡大

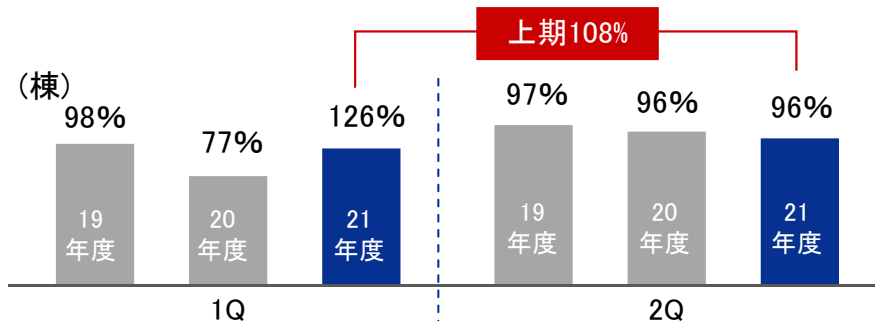
		1Q	2Q	上期見通し
戸建	建替	131%	87%	105% [76%]
	新築 (土地施主手配)	117%	94%	104% [92%]
	自社分譲	144%	101%	118% [122%]
	うち建売	139%	106%	119% [137%]
トータル(集合含む)		126%	96%	108% [94%]

*%は前年同期比。ただし[]内%は19年度比

受注実績・上期見通し *%は前年同期比

新築受注棟数の推移

- 1Qは計画を上回るも、COVID-19影響長期化により上期見通しは期初計画通り(108%)に据置き



3つの成長施策の上期進捗

【50周年記念】



100周年へ向け、住社会への際立ちを創出し続けていく

営業戦術・集客

商品戦略

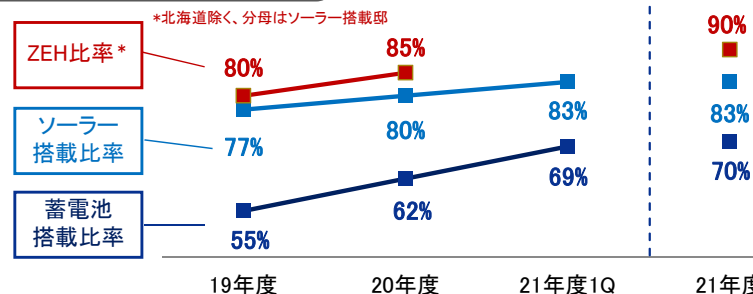
土地戦略

- WEBとリアル融合提案強化
 - ✓ WEB集客強化、オンラインセミナー・商談活用
- 【50周年】「スマートハウスNo.1プロジェクト」推進
 - ✓ ①エリア商品強化(平屋、3階建、積雪)
 - ✓ ②集合住宅強化(ニューノーマル・ZEH対応)
- 【50周年】「全国一斉まちづくりプロジェクト」始動
 - あさかりードタウンの際立ちを戸建分譲地へ
 - ✓ 10プロジェクト・約300区画展開(～2022年度)

- ✓ 【50周年】体験型施設「GREENMODEL PARK」全国展開
 - 標準規模・DX活用モデルハウスで、ニューノーマルな暮らしを体験
 - ▶ ミュージアム含め37拠点(21年9月末時点)(21年3月末比:+5拠点)

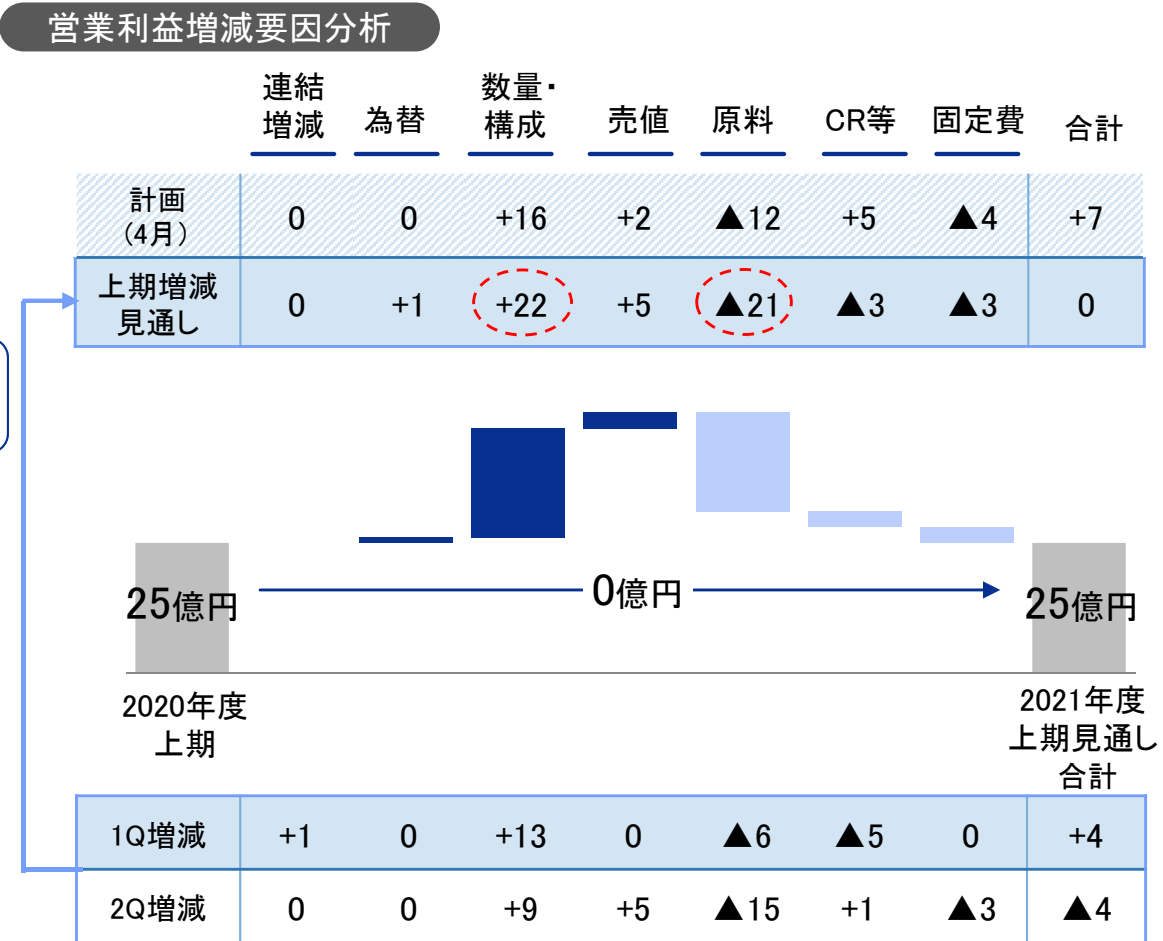
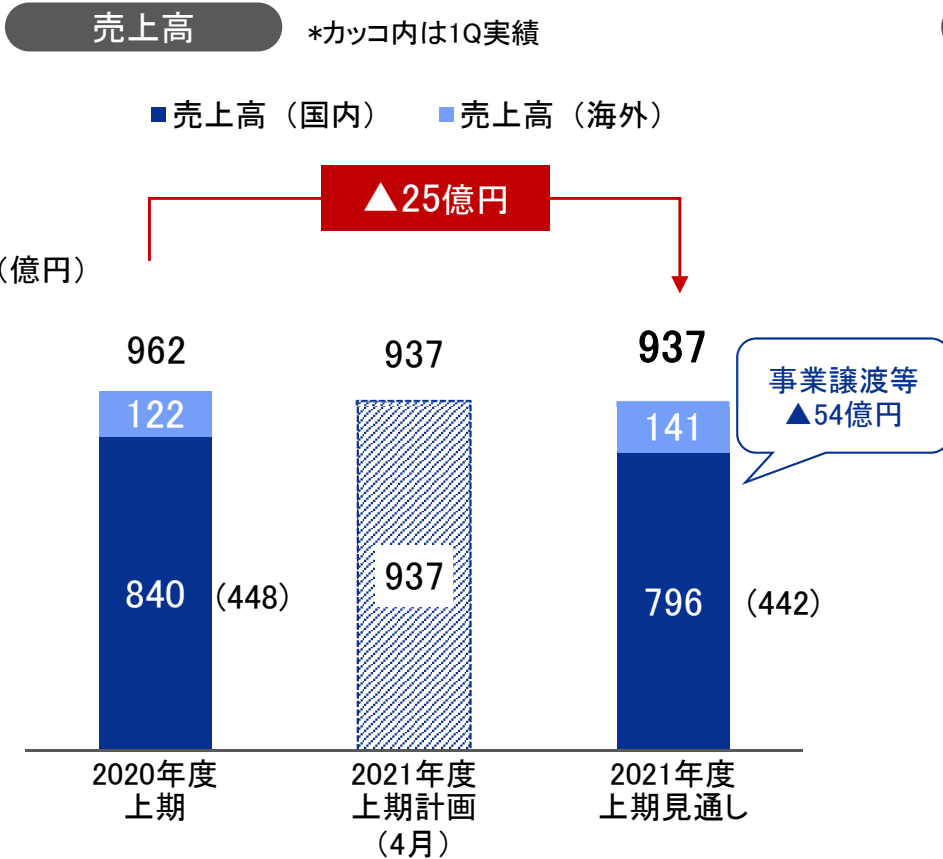
- ✓ ③レジリエンス100 STAY&WORKモデルTS発売(7月)

スマートハウス関連指標*



■「数量・構成」増・固定費抑制も、原料高騰・国内非住宅および航空機需要低調継続影響大きく、上期営業利益計画を下方修正

- ・国内：戸建住宅向けは回復傾向。COVID-19影響長期化により非住宅需要の低調続く
- ・海外：COVID-19沈静化により一部地域(米・アジア)で復調の兆し。半導体関連の需要拡大も、航空機向け需要低調



・ 事業譲渡等の影響除く実質ベースで29億円増収

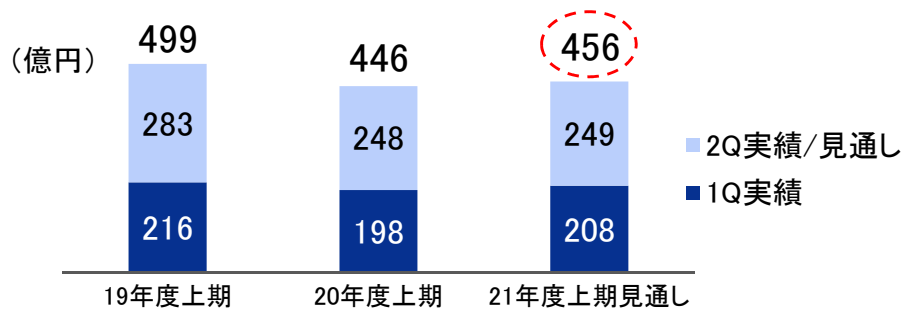
■ COVID-19沈静化により一部地域(米・アジア)で需要回復傾向も、国内非住宅需要は回復遅れ

■ 重点拡大製品*、海外売上は計画通りに進捗 *重点拡大製品:高付加価値、かつ市場成長・代替が見込める製品

戦略3分野の売上高推移と上期進捗状況

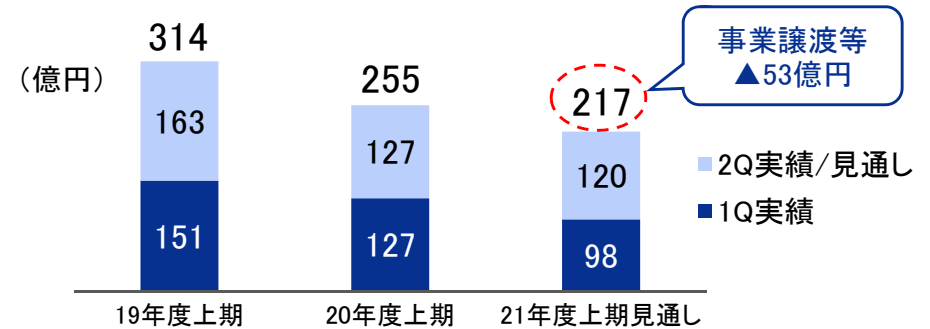
配管・インフラ

- COVID-19影響長期化による、国内非住宅の需要回復遅れ
- 液晶・半導体関連需要拡大によりプラント堅調(アジア・国内)



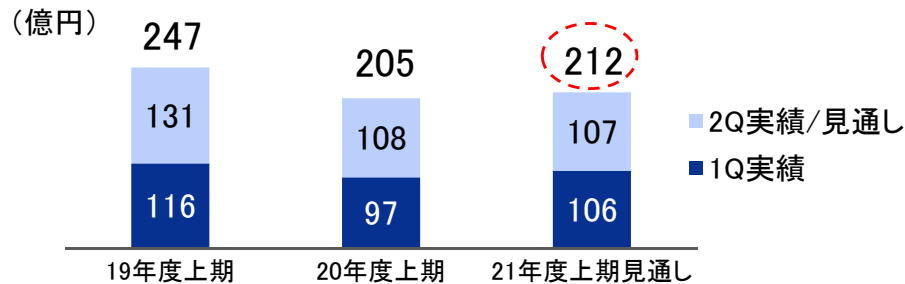
機能材料

- シート: 航空機向け需要低調継続も他用途(医療向け等)展開進捗
- FFU: 設計・工事、一部遅延も、海外枕木用途受注は堅調



建築・住環境

- 住宅新築および改修の需要回復により増収見通し
- 収益性改善継続

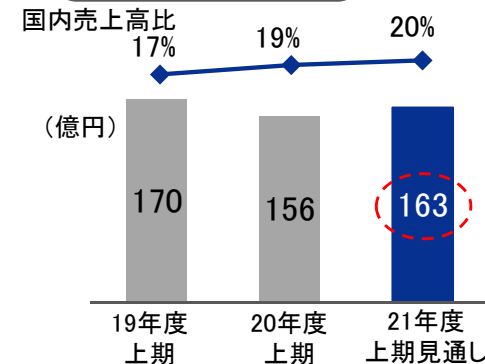


重点拡大製品売上高、海外売上高*

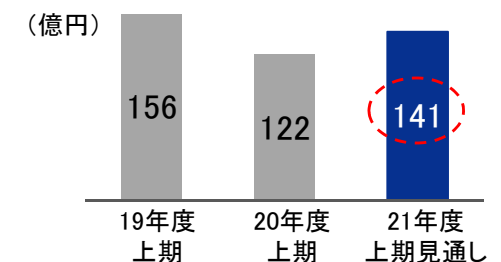
*国内製品輸出含む

■ 重点拡大製品は順調に伸長。海外は航空機向け低調、プラント堅調

重点拡大製品売上高



海外売上高

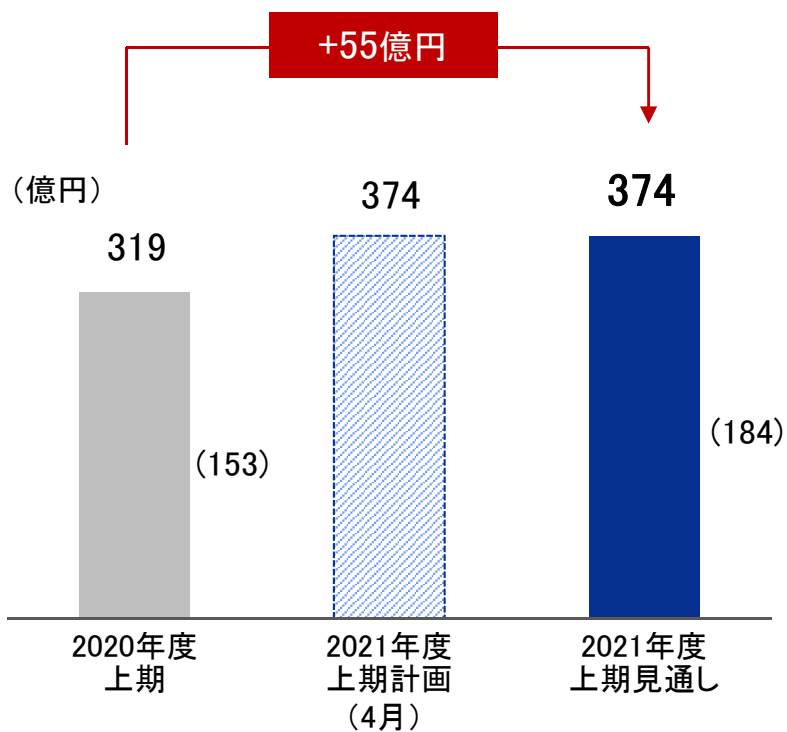


メディカル事業 上期業績見通し

- 国内外ともに外来検査数回復により、19年度並み営業利益水準に回復し、上期営業利益計画達成見通し
- 医療事業も順調に進捗

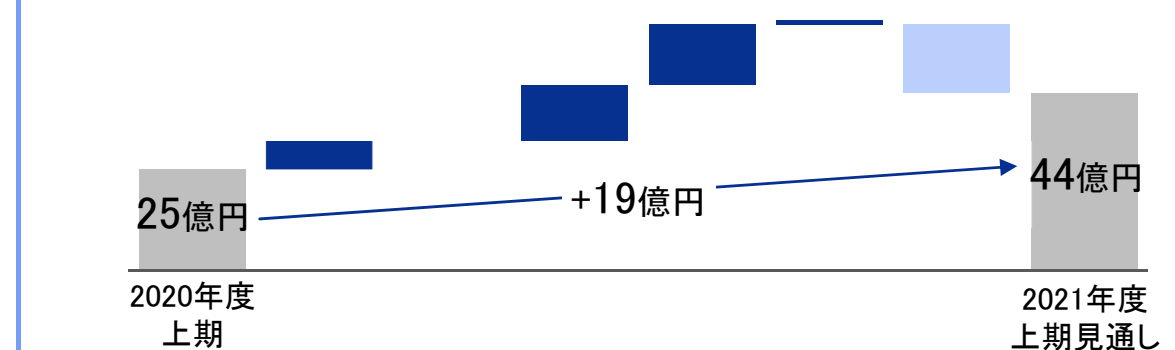
売上高

*カッコ内は1Q実績



営業利益増減要因分析

	為替	新規連結等	検査国内	検査海外	医療他	固定費	合計
計画 (4月)	+4	0	+11	+19	+1	▲15	+19
上期増減見通し	+7	0	+14	+15	+1	▲18	+19



	為替	新規連結等	検査国内	検査海外	医療他	固定費	合計
1Q増減	+3	0	+10	+6	0	▲7	+12
2Q増減	+4	0	+4	+10	+1	▲12	+8

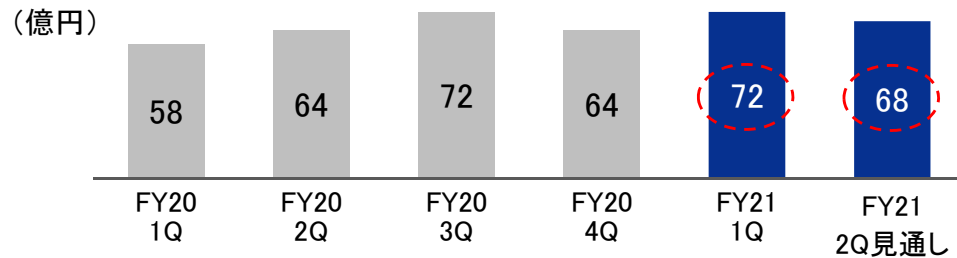
- COVID-19検査キット需要減速(海外)も、外来検査需要回復(国内、海外)。
医療事業は計画通り順調に進捗

事業別売上高推移と進捗状況

検査国内

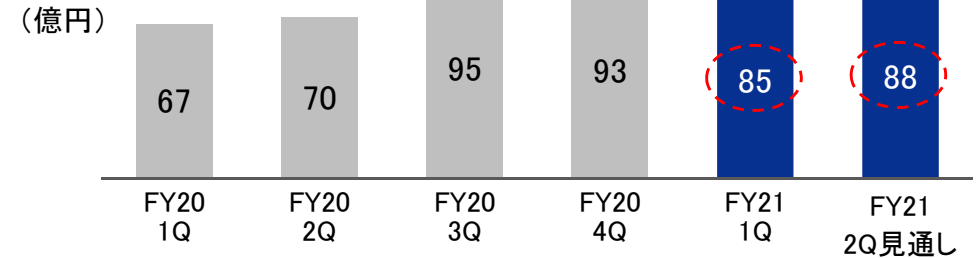
- 感染症(RSウイルス)検査需要増
- 外来検査数回復傾向により計画通り進捗。

19年度水準へ復帰



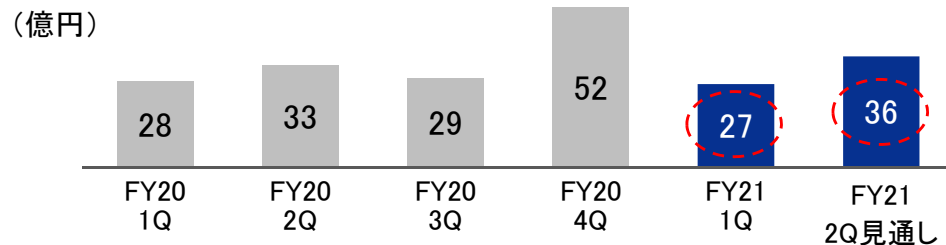
検査海外

- 米国、アジアともにCOVID-19検査キット需要減速も、中国での血液凝固試薬等の拡販でカバー



医療(医薬・創薬支援・酵素)

- 創薬(受託試験)、酵素需要回復。計画通りに進捗
- CDMO事業、計画通りに伸長



新製品開発等の推移

- 新製品開発、計画通りに進捗
- ✓ COVID-19抗原検査キット7月上市(国内)
 - ・短時間判定(約10分)
 - ・目視判定、装置判定ともに可能



2021年度第1四半期

決算内容

連結対象会社数と増減影響

連結対象会社数

	2021年3月末	2021年6月末	増減
連結会社	161社	159社	増加 0社 減少 2社*1
持分法会社	8社	8社	増加 0社 減少 0社

*1 Muhan Co., Ltd.、積水集成衛浴(瀋陽)有限公司

連結会社増減等による影響等

	2021年度1Q（前年比）	増減
売上高	▲34億円	九州セキスイ商事インフラテック(株)*2 一部事業譲渡*3、
営業利益	+1億円	PT.SEKISUI TECHNO MOLDING INDONESIA*4

*2 2021年4月 積水ヒノマルより社名変更

*3 2020年度第2四半期中に一部事業譲渡

*4 2020年度第4四半期中より連結除外

損益概要

(億円)	2020年度1Q	2021年度1Q	増減
売上高	2,148	2,486	+338
売上総利益	660	779	+119
売上総利益率	30.7%	31.4%	+0.6%
販売費および一般管理費	645	668	+23
営業利益	15	111	+96
持分法投資損益	2	3	+1
その他営業外損益	▲8	17	+24
経常利益	9	131	+122
特別利益	-	63	+63
特別損失	3	3	0
税引前利益	5	190	+184
法人税等	7	62	+55
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2	+1
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲4	125	+129
為替レート (期中平均)	米ドル	108円	109円
	ユーロ	118円	132円

株式売却益 +63

貸借対照表 -資産-

(億円)	2021年 3月末	2021年 6月末	増減
現金及び預金	875	843	▲31
売上債権	1,706	1,546	▲160
棚卸資産	2,229	2,391	+161
その他流動資産	246	294	+48
有形固定資産	3,514	3,519	+5
無形固定資産	976	964	▲12
投資有価証券	1,747	1,606	▲141
投資その他の資産	209	216	+8
資産合計	11,501	11,380	▲122

棚卸資産(B/S科目)	2021年 6月末	増減
建売住宅(製品)	301	+28
造成済土地(分譲土地)	594	+7
造成中土地(仕掛品)	123	▲21
工事中住宅(仕掛品)	284	+50
部材等(原材料)	45	+9
住宅計	1,347	+73
非住宅計(製品等)	1,044	+89
棚卸資産計	2,391	+161

設備投資 +106
減価償却 ▲94

株式売却 ▲130

為替影響
▶ +12
実質: ▲134

貸借対照表 -負債・純資産-

(億円)	2021年3月末	2021年6月末	増減
無利子負債	3,176	3,141	▲35
有利子負債	1,382	1,381	▲1
(ネット有利子負債)	(507)	(538)	(+31)
負債合計	4,558	4,522	▲35
資本金等	2,090	2,090	0
利益剰余金	4,411	4,342	▲69
自己株式	▲434	▲410	+25
有価証券評価差額金	508	452	▲55
非支配株主持分	273	273	0
その他純資産	96	110	+14
純資産合計	6,944	6,857	▲87
負債・純資産合計	11,501	11,380	▲122
自己資本比率	58.0%	57.9%	▲0.1%
D/Eレシオ(ネット)	0.08	0.08	+0.01

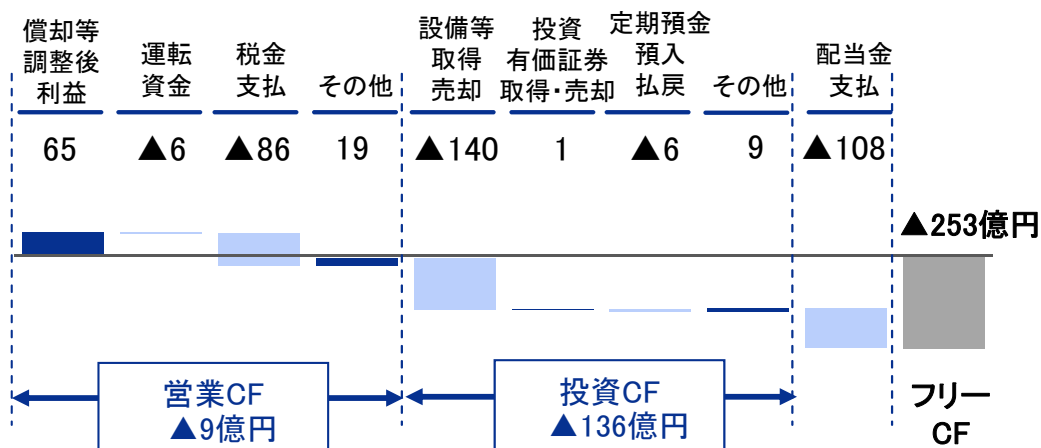
当期純利益
+125
配当金支払
▲108
自己株式消却
▲81

取得
▲56
消却
+81

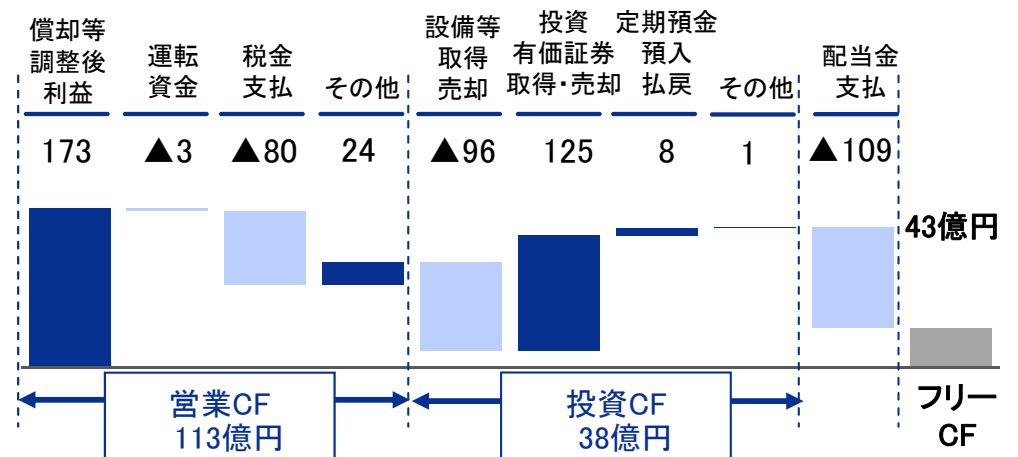
連結キャッシュ・フロー

(億円)	2020年度1Q	2021年度1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲9	113
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲136	38
財務活動によるキャッシュ・フロー	218	▲177
現金及び現金同等物の増減額	80	▲25
現金及び現金同等物の期末残高	829	742
フリーキャッシュ・フロー ＝営業活動CF＋投資活動CF－配当金支払	▲253	43

2020年度1Q フリーCF



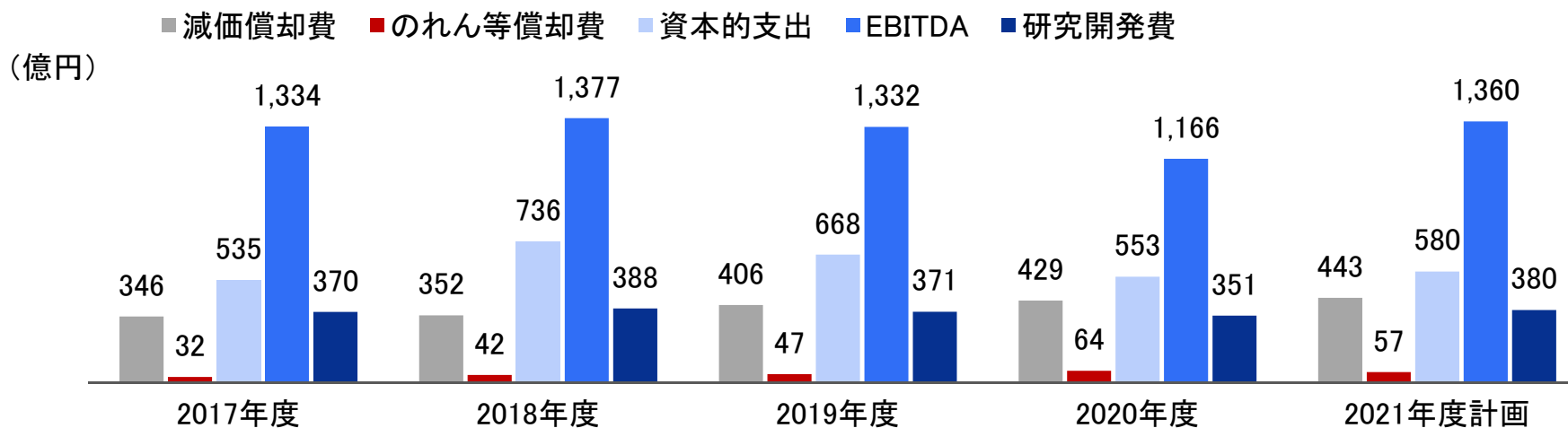
2021年度1Q フリーCF



減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2020年度 1Q	2021年度 1Q	増減	2020年度 通期	2021年度 通期計画	増減
減価償却費	102	107	+4	429	443	+14
のれん等償却費	18	16	▲2	64	57	▲7
資本的支出	134	119	▲14	553	580	+27
EBITDA	134	234	+100	1,166	1,360	+194
研究開発費	86	86	0	351	380	+29

減価償却費・資本的支出・研究開発費推移



*1 減価償却費はM&Aによる無形資産の償却費は含まず

*2 のれん等償却費 = のれん償却費 + M&Aによる無形資産の償却費

*3 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん等償却費

スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。

* 本資料の億円表記の数値に関しては、億円未満を四捨五入で表示しています。

住宅カンパニー実績・計画について

1. 住宅事業の主要データ

		2021年度		2020年度		
		1Q	上期見通し	上期		下期
				1Q	上期	
連結	売上高(億円)	1,055	2,540	961	2,306	2,546
	住宅	687	1,748	657	1,612	1,753
	リフォーム	206	465	170	415	462
	その他	162	327	135	280	332
	不動産	121	248	112	234	244
	住生活サービス	18	39	17	37	41
	まちづくり	17	29	1	1	38
	海外	3	7	4	6	6
その他	1.販売棟数(棟)	1,860	5,260	1,945	4,910	5,245
	戸建	1,805	5,030	1,870	4,645	4,910
	請負	1,500	4,280	1,685	4,085	4,250
	建売	305	750	185	560	660
	アパート等	55	230	75	265	335
	2.主なデータ					
	単価<全国販社・戸建>(百万円)	31.3	-	31.8	31.5	31.1
	坪単価<全国販社・戸建>(万円)	89.7	-	88.1	87.8	88.1
	床面積(m ²)	115.4	-	119.1	118.4	116.3
	展示場数(棟)	-	437	-	439	441
営業人員数(人)	2,620	2,563	2,677	2,612	2,451	

住宅カンパニー実績・計画について

2. 受注状況等

(百万円)

		2021年度		2020年度			2019年度	
		1Q	上期見通し	1Q	上期	下期	上期	下期
新築・ リフォーム	期初受注残	184,800	-	205,400	205,400	194,500	219,500	217,320
	伸び率	▲10%	-	▲6%	▲6%	▲11%	+6%	+2%
	新規受注	91,898	195,865	70,291	175,319	190,806	203,590	193,472
	伸び率	+31%	+12%	▲24%	▲14%	▲1%	▲1%	▲11%
	売上高	77,698	198,665	75,891	186,219	200,506	205,770	205,392
	伸び率	+2%	+7%	▲10%	▲9%	▲2%	+3%	▲3%
	期末受注残	199,000	182,000	199,800	194,500	184,800	217,320	205,400
	伸び率	±0%	▲6%	▲12%	▲11%	▲10%	+2%	▲6%

3. 住宅着工戸数

(戸)

	2021年度		2020年度		
	1Q	上期見通し	1Q	上期	下期
住宅着工戸数	213,000	409,000	204,508	414,039	398,125
上記のうち持家+分譲戸建着工(=A)	102,500	200,000	98,069	195,340	197,108
当社戸建販売棟数(=B)	1,805	5,030	1,870	4,645	4,910
当社シェア(=B/A)	1.8%	2.5%	1.9%	2.4%	2.5%

*2021年度1Q以降の「住宅着工戸数」と「持家+分譲戸建着工」については見通し

4. 高性能住宅仕様装着比率

	2021年度		2020年度		
	1Q	上期見通し	1Q	上期	下期
太陽光発電搭載	83%	83%	80%	79%	80%
蓄電池搭載比率	69%	69%	60%	60%	64%
快適エアリー	73%	76%	71%	72%	75%